

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・**最終**)

昭和中学校区 校番 17 学校名 呉市立昭和中学校

a 学校教育目標	<b>責</b> 未来を切り拓く人間の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	(ミッション)(学校の使命) 生徒・保護者・地域の期待に応える中学校教育の実現 (ビジョン)(将来の学校像) 生徒に対する「愛情」教育に対する「情熱」 社会に対する「使命感」あふれる学校
----------	--------------------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	(現状) 基礎的・基本的な学力が定着していない生徒が見られる。特別な支援を必要とする生徒が多い。 意欲的に学校生活を送っている生徒が多いが、学力面、生活面ともに二極化傾向がみられる。 (重点) 学力の向上(小中一貫で取り組む授業改善・主体的に学習に取り組む態度の育成・個別指導の充実) 社会性の涵養(自らへの自信・道徳的実践力・規範意識を育む教育活動の充実)
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	<b>責</b> 知識・技能 コミュニケーション力 自らへの自信
-------------	----------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・ <b>3</b> 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
<b>責</b> 確かな学力	基礎的・基本的な内容の習得を図り、思考力・表現力(コミュニケーション力)を養う。	分かりやすい授業による学習意欲の喚起	「めあて」と「まとめ」、「指導」と「評価」が一貫している授業の実施	授業が分かりやすいと感じている生徒の割合(アンケート調査)	90	85	94%	B	83	92%	B
		読書活動の推進	朝読書の再開 図書館の開館	授業において友だちの意見が参考になると感じている生徒の割合(アンケート調査)	90	91	101%	A	90	100%	A
		自分の志を表現できる生徒の育成	進路決定に係る面接指導の充実	1か月の間に本を1冊以上読んでいる生徒の割合	50	64	128%	A	63	125%	A
		言語能力、情報活用能力、課題発見・解決能力等の育成	課題克服を意識した授業の実施 試験週間や長期休業中の個別学習指導の充実	中学3年時に自分の志、理由、道筋を3文以上・自分の言葉で表現できる生徒の割合	95	—	—	—	94	98%	B
				「全国学力・学習状況調査」の通過率と年度後半に課題を絞って実施する「自校調査」(定期試験の類似問題等)の通過率との比較	国 数 英 で 各 10 P 増	—	—	—	13	125%	A
<b>責</b> 豊かな心	基本的な生活習慣を身に付け、進んで他者とかがわりながら、社会に貢献しようとする生徒を育成する。	「自らへの自信」の涵養及び道徳的実践力の向上	授業等を通しての自己有用感の向上	「自分にはよいところがある」と思う生徒の割合(アンケート調査)	85	76	89%	B	75	88%	B
		規範意識を涵養	生徒指導規程を核とする組織的な指導の推進による自己指導能力の育成	「学校に行くのが楽しい」と思う生徒の割合(アンケート調査)	90	83	92%	B	81	90%	B
		安心・安全な環境	災害から自分の命を守る意識の向上	正しい服装を保っていると感じている生徒の割合(アンケート調査)	95	93	97%	B	91	95%	B
				時間を守ろうとする生徒の割合(アンケート調査)	95	94	98%	B	92	97%	B
				自らあいさつをしようとする生徒の割合(アンケート調査)	95	91	95%	B	90	94%	B
<b>責</b> 健やかな体	活力があり、主体的に体力・運動能力の向上に取り組む生徒を育成する。	活力を喚起する体験活動の充実	学校行事・部活動・生徒会活動の活性化	部活動等に満足している生徒の割合(アンケート調査)	90	74	82%	B	72	80%	B
		家庭・地域・学校生活を通しての主体的な体力づくり、運動能力の向上	体育の授業及び「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」を活用する	50m走(男女)、長座体前屈(男女)、持久走(男子)、シャトルラン(女子)の6種目中、3種目以上全国平均を上回るようにする。	3	4	133%	A	4	133%	A
業務改善	持続可能な教育環境の整備 長時間勤務の削減	教育活動へのやりがい	教職員間のコミュニケーションの充実	「日々の業務の中で充実感を得られている」と感じる教職員の割合	80	—	—	—	63.6	79.5%	C
		長時間勤務の削減	週1回の定時退校の徹底 部活動休業日の定着	時間外勤務が月45時間を超えない教職員の人数	100	57.4	57.4	D	56.2	56.2	D

【k:評価】  
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100  
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60